

ばらの焼酎を販売



贈り物に
ばらの花びらを仕込んだ焼酎は
いかがですか

鹿屋市やNPO法人ローズリングかのやなどで行く「ばら焼酎開発研究会」が、ばらを原料に使った焼酎「2006原酒 薔薇の贈りもの」を開発し、11月19日から全国に売り出しました。

同焼酎は、ばらのまちかのやをPRしようと開発されたもので、ばらのリキュール「プリンセスかのや」に続く第2弾の商品。焼酎に使用するば

らは、香水の原料に使用される香りの強いロサ・ダマッセナという品種で、農薬を一切使用せずに大切に育てたロサ・ダマッセナのつぼみと地元産のさつまいもで仕込んであります。

720ml入りの原酒で価格は2,700円。かのやばら園をはじめ、市内や大都市圏の小売店などで計17000本が売り出される予定です。

【問い合わせ】
NPO法人
ローズリングかのや
09941418718

です。
ほのかなばらの香りを楽しむことができることから、かのやばら園の全国PRに役立つものと期待されています。

肝属地区障害者総合相談支援センターを設置



身体・知的・精神の専門スタッフが常駐し、相談等に応じます。

11月24日、鹿屋市社会福祉会館で、身体・知的・精神障害者の相談業務等を行う一つの窓口で行う肝属地区障害者総合相談支援センターの開所式が行われました。

これまでの相談支援事業等は、身体障害者は市町が行い、知的及び精神障害者は県が行ってきましたが、障害者自立支援法の施行に伴い、今年10月から知的及び精神障害者相談業務の実施主体が市町に移

管。このことにより肝属地区で分散して行われていた障害種別ごとの相談体制が一元化されました。

同会館内に設置された県内初の身体・知的・精神障害者の相談窓口がある同センターは、肝属地区2市4町で運営し、身体・知的・精神の専門スタッフがそれぞれ2人常駐。障害が重複している人もいることから、各分野の専門スタッフが連携することで、きめ

細やかなサービスの提供が期待されています。

当日行われた開所式には、施設関係者など約40人が出席し、3つの支援センターを代表して、陵北荘所長の西山氏が「障害者が気軽に利用できるよう頑張ります」と抱負を述べました。

【問い合わせ】

市高齢障害福祉課
09941431211
内線3133・3134

肝属地区障害者総合相談支援センター

【開所時間】 月～金 8時30分～17時
土 8時30分～12時

【相談・連絡先】

身体障害に関する相談
0994-35-4801
児童及び知的障害に関する相談
0994-35-4802
精神障害に関する相談
0994-35-4803